

### <現状>

- 新設排水路については、構内排水路全体の排水能力向上・排水路の負荷分散を目的として設置。本年4月および6月に一部通水を開始し、状況を確認していた。
- 新設排水路の通水状況が確認できたことから、C排水路の負荷緩和のため、9月上旬に発電所西側エリアより上流の水は全て新設排水路へ流れるように、切り替えを実施した。
- 切り替え以降、C排水路では事前の予想以上に流量が減少し、降雨が少ないと排水路内の水の流れがなく、降雨時に流入した水が滞留していることが分かった。そのため、定例サンプリングの至近の分析結果が約200~400Bq/Lで推移していたと考えられる。
- なお、側溝放射線モニタでは、滞留した水を繰り返し測定している状態となっていることから、C排水路の監視という本来の機能が適切に行われるよう、新設排水路から一部をC排水路へ再通水を行い、一定量の流量を確保することにする。

### <今後の対応>

- 10月11日より、C排水路に設置されている側溝放射線モニタが適切に測定できる水量の通水（従来、降雨の無い日に流れていた程度）を再開する。

# OC排水路、新設排水路の状況

